



優秀賞 (総合部門)

タイトル

人生は長く 生活動線は短く

タイプ

持家共同建

講評

当初はそれなりの理由があったのだろうが、信じがたい程の動線の悪い住宅だった。書斎を快適に、という当初の目的は、部屋の整理と動線の整理によって大変住みやすくなった。高齢者にとって動線の短さはいかに重要かを示すもの。

リフォーム前後の写真



リフォーム前 ア、イ：長いだけの廊下



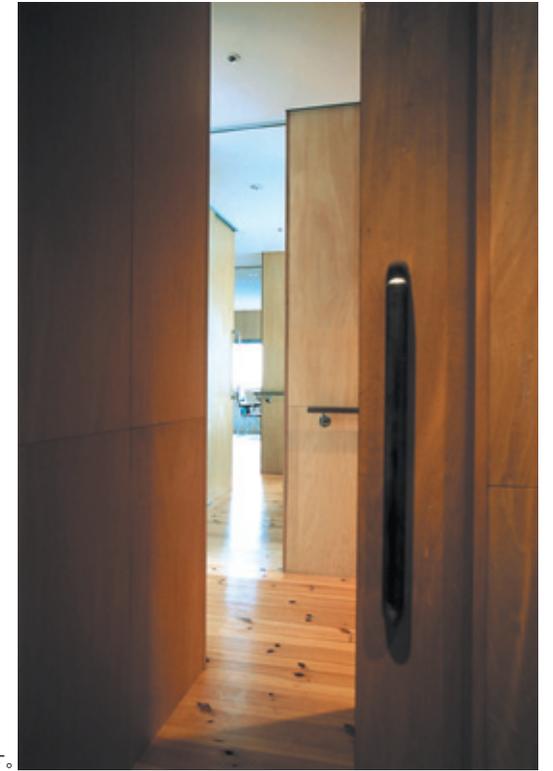
①廊下にどこからも出られます



②廊下からどんなところにも最短距離



③CAFE! の香りで目覚め



④キッチンから書斎へ一直線目も届きます。声も届きます。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

かなり床面積のあるマンション住まいの80代のご夫妻がご主人の書斎を日当たりも眺めもよい、この家で一番いい位置に移したいと、リフォームを決心された。ご主人は脳梗塞で倒れたことがあるので室内の移動は手摺に頼っているが、奥様は元気。料理、洗濯、掃除など一人で家事をされる。お二人とも自立した生活をされているが寝室からキッチンや食堂へ、キッチンから書斎へ行くのも動線が長すぎる。朝起きてから寝るまでのご夫妻の生活動線を整理して、書斎を希望である条件のよいところに移して、寝室を住まいの中心に持っていった。さらに寝室から

特に配慮した住宅性能 住宅性能とは直接関係ないが施主の希望から建具、作り付け家具、エアコンほとんど全てを再利用することがリフォーム条件であった。移動などして廃棄するごなく利用したことはエコリフォームに配慮した点である。

データ	
所在地	東京都墨田区
構造/築後年数	鉄筋コンクリート 造/ 3 年
該当工事面積	50 m ² /総工事床面積 80 m ²
該当部分工事費	700 万円/総工事費 1,000 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 1 人/65歳以上: 2 人/15歳未満: 人/ベッド: 1
設計者	エス・オウ設計事務所 (SO PONTE)
担当者	寺林 成子・直町 常容子
施工者	木場建設 (株)
担当者	高橋 吉一

リフォーム前 リフォーム後

